

第12章 令和2年度決算報告

1 概要

地域の基幹病院として富士宮市民をはじめ山梨県を含む近隣市町住民の高度かつ多様化する医療需要に対応し、良質な医療を提供すべく、医療体制の充実、医療及び看護水準の向上、開業医との病診連携の推進、そして施設設備及び高度医療機器の整備に努めてまいりました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症が流行し、一年を通して新型コロナウイルス感染症に対応しながらの病院経営となり、収束が見られないまま決算を迎えました。このような状況の中、他院では前年度よりも患者数が減少する等で医業収益の減少が見受けられます。当院においては医師確保対策の成果により、診療体制が充実したため、前年度よりも医業収益が増加しました。

診療体制については、整形外科が正規医師4人体制から5人体制、泌尿器科が正規医師1人体制から2人体制となりました。また、泌尿器科の診療体制の回復に関連し、放射線科の放射線治療の患者数も増加しました。この結果、整形外科では外来患者数が7,935人(前年度比1,039人増)、泌尿器科では入院患者数が2,084人(対前年度比1,340人増)、外来患者数が5,318人(前年度比1,389人増)、放射線科では外来患者数が4,300人(対前年度比844人増)となりました。新型コロナウイルス感染症の影響で各診療科の患者数が減少する中、診療体制が充実した診療科については、前年度よりも良好な実績となりました。

入院部門は、年間延べ患者数88,252人(1日平均242人)で対前年度比3,132人減少(3.4%減)し、病床稼働率は63.6%で対前年度比4.8%減少となりました。平均在院日数は12.3日で対前年度比1.9日増加しました。延べ患者数は減少しましたが、患者一人一日当たりの診療収入額は対前年度比3,414円の増額となったため、入院収益は、対前年度比で1億3,517万6千円の増額(2.8%増)となりました。

外来部門は、年間延べ患者数124,516人(1日平均513人)で対前年度比5,316人の減少(4.1%減)となりました。延べ患者数は減少しましたが、患者一人一日当たりの診療収入額が対前年度比1,242円の増額となったため、外来収益は、対前年度比で2,778万1千円の増額(0.9%増)となりました。

この他、人材確保対策として、将来の看護師等の確保を目的とした修学資金貸与制度に基づき、本年度は新たに看護学生18人に対して修学資金を貸与しました。

また、医療機器整備事業として、高度医療機器である「核医学検査装置」をはじめとした機器の更新を行い、最新の医療機器による効果的な診療が行えるよう努めました。

本来であれば、地域包括ケア病棟が完成し、診療体制も前年度より充実してきたことから、患者数の増加を見込んでおりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により入院、外来共、患者数が減少し、前年度よりも医業収益が若干の増収に留まりました。一方、感染症対策費用や地域包括ケア病棟の稼働による職員の増員等により、医業費用の増加幅が医業収益を上回りました。

この結果、令和2年度決算は2億1,508万1千円の純損失となり、これに過年度からの繰越欠損金44億7,808万6千円を加えた当年度未処理欠損金は46億9,316万7千円となりました。

2 収支状況

※参考 後頁 表「過去5年間の収益的収支の推移」等

(1) 事業収入

医業収益は、対前年度比1.9%(1億5,024万3千円)増加し82億3,283万3千円となりました。また、医業外収益は、対前年度比41.6%(5億628万3千円)増加し17億2,290万9千円となりました。病院事業収益全体では、対前年度比8.7%(8億1,261万6千円)増加し101億1,390万3千円となりました。

(2) 事業費用

医業費用は、対前年度比 0.2% (2,164 万 3 千円) 増加し 97 億 2,115 万円となりました。また、医業外費用は、対前年度比 4.0% (1,730 万円) 減少し 4 億 1,206 万 5 千円となりました。病院事業費用全体では、対前年度比 1.6% (1 億 5,842 万 8 千円) 増加し 103 億 2,898 万 4 千円となりました。

3 資産等の取得状況

令和 2 年度中に取得した資産等（1 件 100 万円以上）は、以下のとおりです。

(1) 医療器械器具

(単位 円)

名 称	金 額
核医学検査装置	54,120,000
個人用多用途透析装置	12,980,000
心臓リハビリテーションシステム	12,595,000
自動ジェット式超音波洗浄装置	10,560,000
人工呼吸器	9,999,000
全自動化学発光酵素免疫測定装置	8,140,000
軽量移動型デジタル X 線撮影装置	7,700,000
麻酔器	6,358,000
ベッドパンウォッシャー	5,695,800
无影灯	5,478,000
超音波画像診断装置	4,675,000
生体情報モニタ	4,400,000
薬品在庫管理システム	2,940,300
耳鼻咽喉ビデオスコープ	2,860,000
遺伝子解析装置	2,677,400
病棟ベッド (6 台)	2,336,400
放射線治療固定具一式	1,947,000
臓器撮影装置	1,870,000
血圧脈波検査装置	1,725,900
病棟ベッド (4 台)	1,591,700
ベッドサイドモニタ	1,481,700
バイオハザード対策用キャビネット	1,452,000
電動ドリル	1,254,000
トレッドミル	1,166,000

(2) 備品

(単位 円)

名 称	金 額
経営支援システム	10,890,000
マイナンバーカードオンライン資格確認システム	7,700,000

D P C分析ベンチマークシステム	4,840,000
レセプト発行用複合機（2台）	1,996,500
A Iサーマルカメラ	1,911,140
W e b会議用機器一式	1,870,000